

単元名：

ダブルバウンド・テニス

(全 10 時間扱い中 第 10 時)

授業日時 2019 年 9 月 17 日 (火) 第 2 校時

授業学級 2 年 E 組

授業会場 体育館

授業者

指導者

(1) ねらい

チーム内やペアでの声掛けをし、前衛・後衛が連携することを意識してポジションをとることができる。

(2) 授業のポイント

- ・相手後衛の位置によってポジショニングを変えることを学んだ子どもたちが、ノータッチボレーを決めるためにはどうすればいいか考える。
- ・相手の位置だけではなく味方の位置にも着目をして、練習やゲームをする。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	<p>【学習問題】相手のいない場所を狙って得点するにはどうすればいいか。</p> <p>1. 前時を振り返り、学習の見通しを持つ。</p>	<p>◇後衛は得点を狙う場面とチャンスを作り出す場面の判断が必要なことを意識するよう促す。</p> <p>◇前時に撮影した A さんが味方の位置に応じてポジショニングを変えている場面を動画で見せる。</p> <p>★大型提示装置</p>	6 分
	<p>【学習課題】前衛と後衛の連携を意識してポジションを変えよう。</p>		
展開	<p>2. チームで作戦を考えて、練習をする。</p> <p>3. リーグ戦を行う。</p>	<p>◇ボール操作、オフ・ザ・ボールの場面に着目して作戦を考えるように指示する。</p> <p>◇既習事項からチームの課題を意識した練習をするように促す。</p> <p>★ホワイトボード、作戦シート、ゲーム記録</p> <p>◇味方の位置を確認して状況に応じたポジションをとるように指導する。</p> <p>◇遠くへボールを投げられない生徒には、チームの中で投能力の優れた生徒に教えてもらえるよう促す。</p> <p>◇相手後衛が低くて速いボールを投げってくるため、ラケットの向きを意識して構えるように声掛けをする。</p>	8 分 26 分
		<p>【評価】前衛と後衛の連携を意識したポジションをとることができる。</p>	
終末	4. 振り返り	<p>◇今まで身に付けてきた力を発揮することができたかどうか振り返るよう促す。</p> <p>○単元を振り返り、成果と課題を発表してください。</p>	10 分